

横河電機株式会社
2012年3月期 第2四半期
決算説明会

2011年11月9日

常務執行役員 経営管理本部長 鈴木 周志

1. 新興国の継続的な成長等に支えられ、前年同期と比較して受注高・売上高が増加。売上高の増加に加え、粗利率の改善等により営業利益も増加。

制御事業：日本市場では一部に東日本大震災からの復興に向けた需要が見られたものの、夏期の電力供給不足や急激な円高の進行による設備投資意欲の減退などにより、市場の先行きが不透明な状況で推移。海外市場では、東南アジア諸国、中国、インド、ブラジル、オーストラリアなどで、前期に引き続き、エネルギープラントや電力プラントなどの需要が堅調に推移。これらの結果、売上高、営業利益とも前年同期と比べ増加。

計測機器事業：測定器ビジネスでは、電力測定器や光測定器の需要が堅調に推移。半導体テストビジネスではメモリ前工程向けテスト分野で設備投資回復の動き。これらの結果、前年同期と比べ売上高は増加、営業損益は売上増に加え、固定費及び研究開発費の減少により損失が減少。

2. 売上高の増加、特別損失の減少等により、四半期純損益が前年同期と比べ改善し黒字化。

(億円)

	FY10 1H 実績	FY11 1H 計画	FY11 1H 実績	差異(前年比)	差異(計画比)
受注高	1,697	1,780	1,790	93	10
売上高	1,533	1,550	1,578	45	28
営業利益	39	45	68	29	23
経常利益	18	25	42	24	17
四半期純利益	▲35	0	7	42	7

FY11 1H 経営成績(対計画比)

(億円)

		FY11 1H計画	FY11 1H実績	差異
受注高		1,780	1,790	10
売上高		1,550	1,578	28
営業利益		45	68	23
経常利益		25	42	17
四半期純利益		0	7	7
為替レートの	1\$= 1€=	80.00円 110.00円	79.16円 113.52円	▲0.84円 3.52円

- ◆受注高は、制御事業が国内、海外市場で計画を超過達成
- ◆売上高は、制御事業の海外市場及び計測機器事業で計画を超過達成
- ◆営業利益は、売上高の増加及び粗利率の改善により計画を超過達成

FY11 1H 経営成績(対前年同期比)

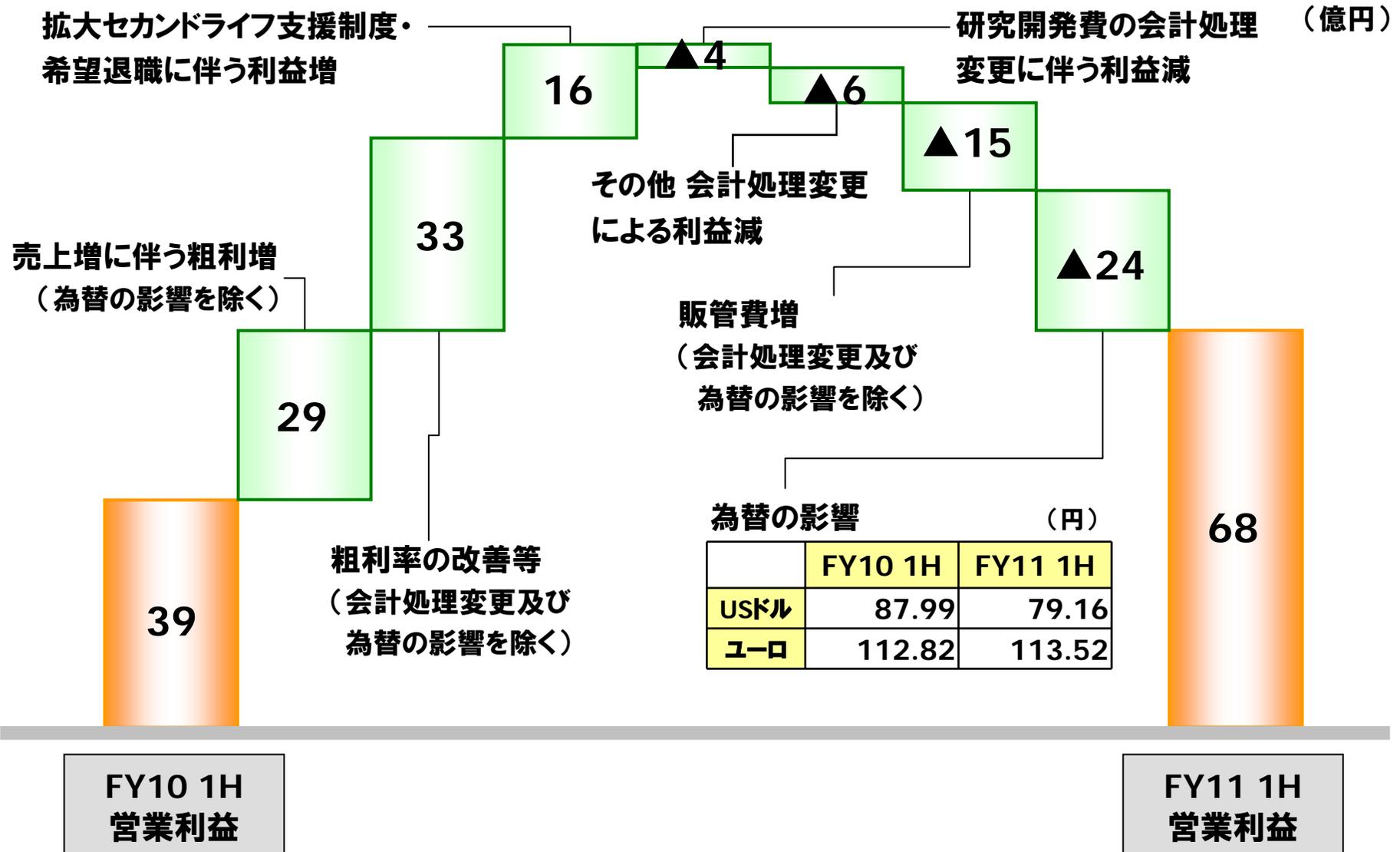
YOKOGAWA ◆

(億円)

		FY10 1H	FY11 1H	増減率	差異
受注高		1,697	1,790	5.5%	93
売上高		1,533	1,578	2.9%	45
営業利益		39	68	76.1%	29
経常利益		18	42	128.7%	24
四半期純利益		▲35	7	—	42
為替レート	1\$= 1€=	87.99円 112.82円	79.16円 113.52円	—	▲8.83円 0.70円

- ◆新興国の継続的な成長等により、円高(対USドル)によるマイナスの影響を受けながらも制御事業の海外市場を中心に受注高、売上高とも増加(為替影響額:受注高▲47億円 売上高▲39億円)
- ◆営業利益の減少を伴う会計処理の変更を行ったものの、売上高の増加及び粗利率の改善により、営業利益が増加
- ◆四半期純利益が、有価証券評価損26億円の特別損失により赤字を計上した前年同期から改善し黒字化

FY11 1H 営業利益分析(対前年同期比)



四半期別 経営成績

(億円)

	FY09				FY10				FY11	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
受注高	798	749	726	878	880	817	784	860	950	840
売上高	645	862	685	974	662	871	752	971	700	878
営業利益	▲56	32	▲4	53	▲6	45	8	64	5	63

◆売上高は国内制御事業を中心に2Q、4Qに集中

◆粗利率の改善により2Qの営業利益が前年同期と比べ改善

営業外・特別損益

(億円)

	FY10 1H実績	FY11 1H計画	FY11 1H実績
営業利益	39	45	68
営業外収益	18	▲20	16
営業外費用	39		42
経常利益	18	25	42
特別利益	4	▲5	1
特別損失	33		8
税引前利益	▲11	20	35
法人税等	24	20	28
四半期純利益	▲35	0	7

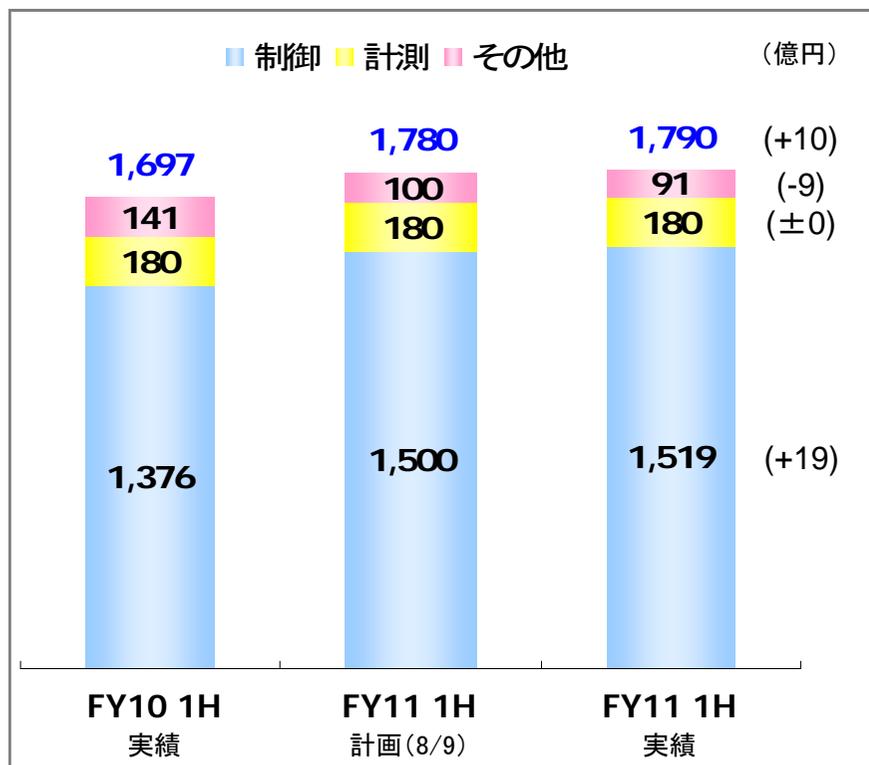
支払い利息：
13億円
為替差損：
14億円

事業構造改善
費用：7億円

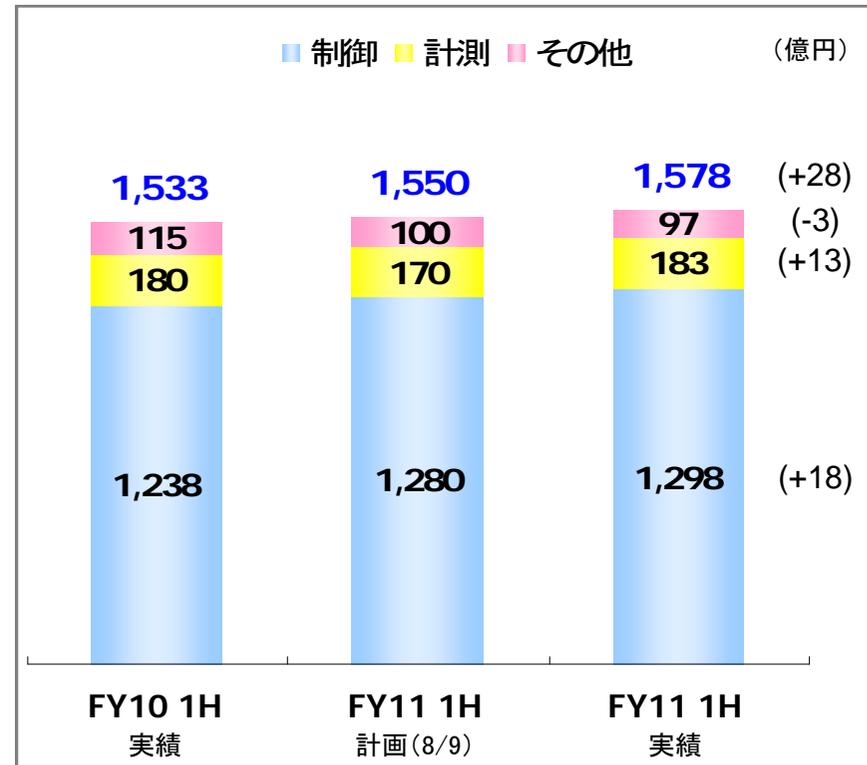
- ◆希望退職募集に伴う追加費用約7億円を1Qに計上したものの、投資有価証券評価損26億円を計上したFY10 1Hと比較し特別損失が減少
- ◆海外関係会社における課税所得が増加したことから法人税等が増加

セグメント別 受注・売上(対計画比)

受注高



売上高

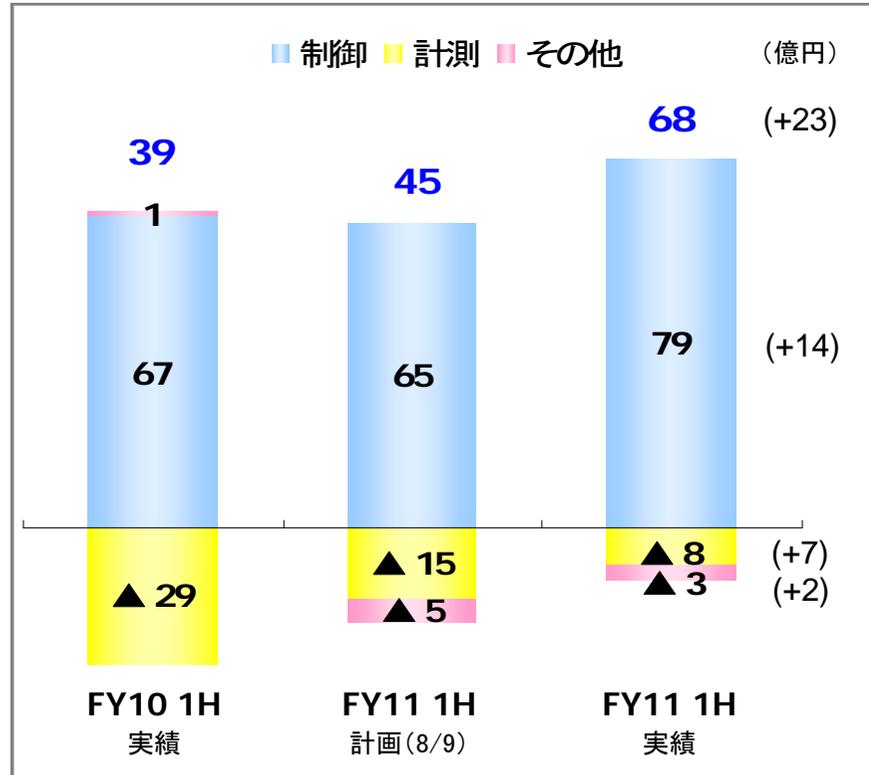


◆制御事業：受注高は、海外・国内市場とも計画を超過達成。売上高は海外市場で計画を超過達成

◆計測機器事業：受注高はモーションコントロール(旧アドバンスステージ)とライフサイエンスの未達を半導体テスタでカバーし、ほぼ計画どおり。売上高は、測定器ビジネス、半導体テスタビジネスで計画を超過したことから、事業全体としても計画を超過達成

セグメント別 営業利益(対計画比)

営業利益



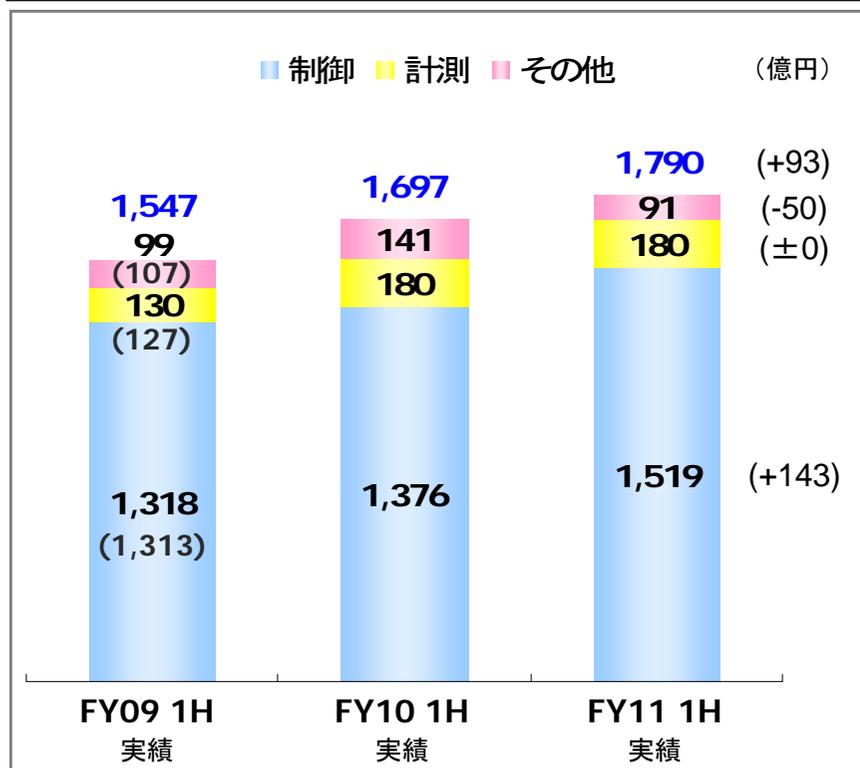
(億円)

	FY11 1H 計画(8/9)	FY11 1H 実績	差異
制御	65	79	14
計測	▲15	▲8	7
その他	▲5	▲3	2
合計	45	68	23

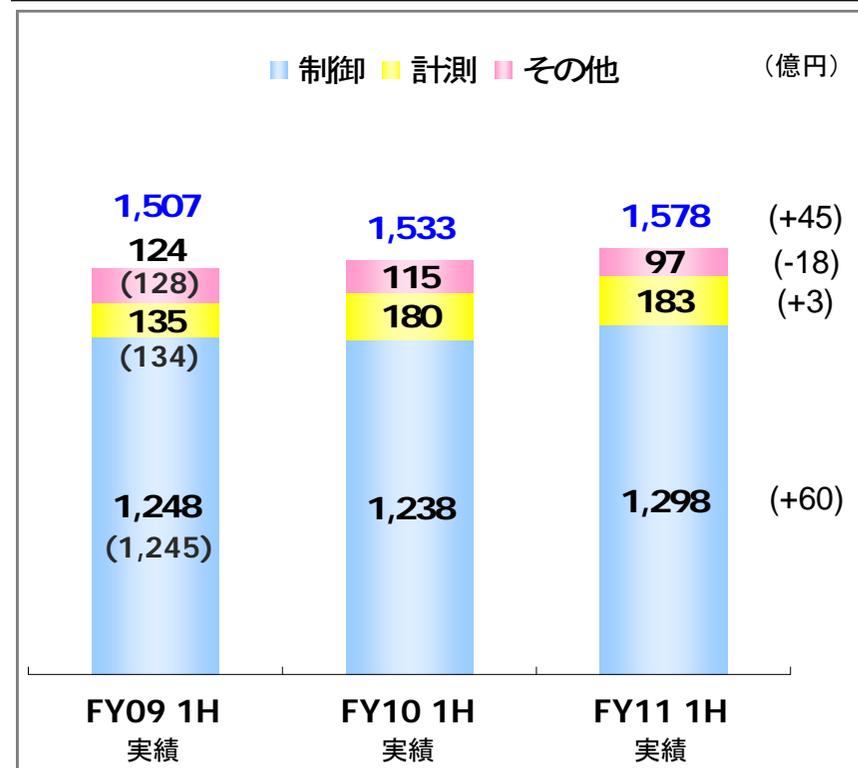
- ◆**制御事業**: 売上高の計画超過達成、自社製品比率の上昇及び物量増による粗利率改善により営業利益が増加
- ◆**計測機器事業**: 増収に加え、研究開発費の圧縮により営業損失が減少

セグメント別 受注・売上(対前年同期比)

受注高



売上高



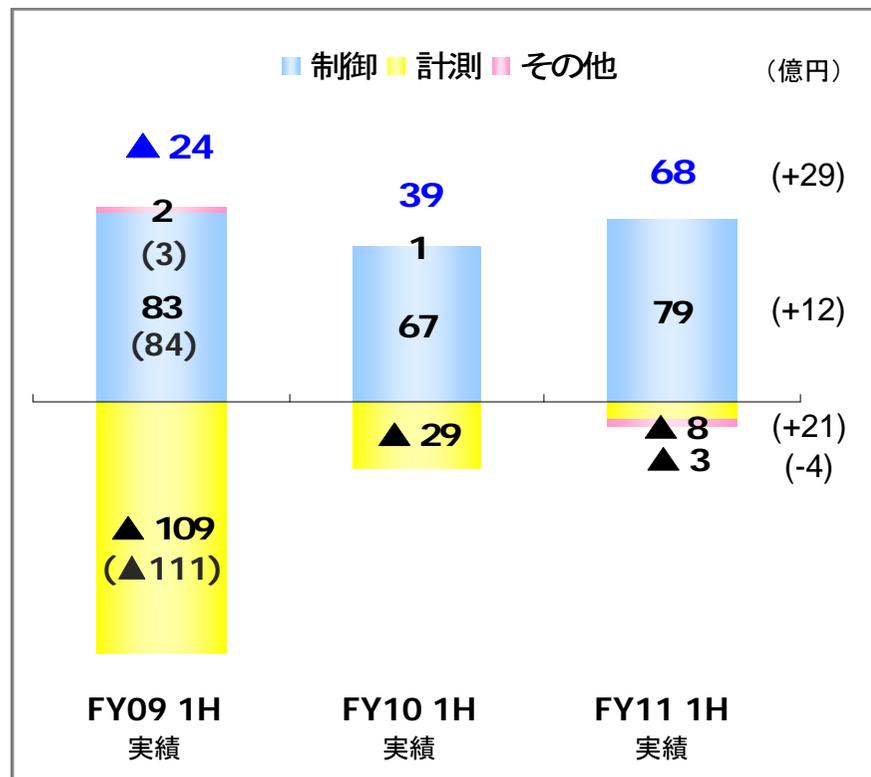
※新会計基準の適用により、FY10からセグメント情報の集計方法が変わりました。FY09()内の数値は集計方法変更前の数値です。

◆**制御事業**: 海外市場でエネルギープラントや電力プラントの需要が堅調に推移したことから、円高(対USDドル)によるマイナスの影響を受けたものの受注高・売上高が増加(為替影響額: 受注高▲44億円 売上高▲36億円)

◆**計測機器事業**: 事業撤退を決めたフォトニクスビジネスで受注高・売上高が減少したものの、測定器ビジネス、半導体テスタビジネスの増収(測定器: 受注高6億円増 売上高12億円増 半導体テスタ: 受注高10億円増 売上高4億円増)により、前年同期と比べ受注高は横ばい、売上高は微増

セグメント別 営業利益(対前年同期比)

営業利益



(億円)

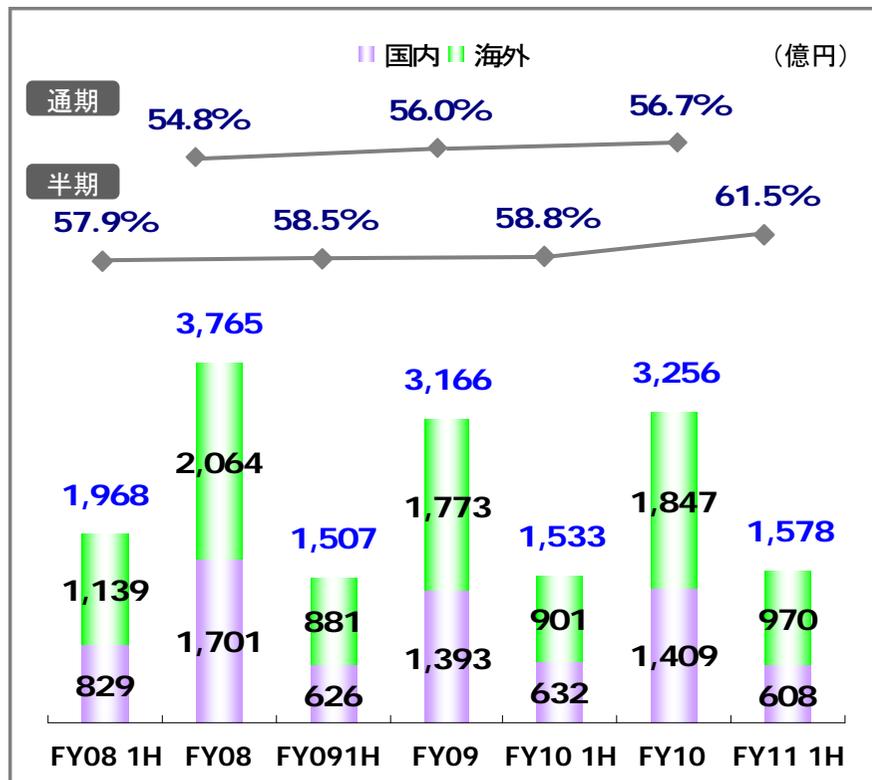
	FY10 1H 実績	FY11 1H 実績	差異
制御	67	79	12
計測	▲29	▲8	21
その他	1	▲3	▲4
合計	39	68	29

※新会計基準の適用により、FY10からセグメント情報の集計方法が変わりました。FY09()内の 数値は集計方法変更前の数値です。

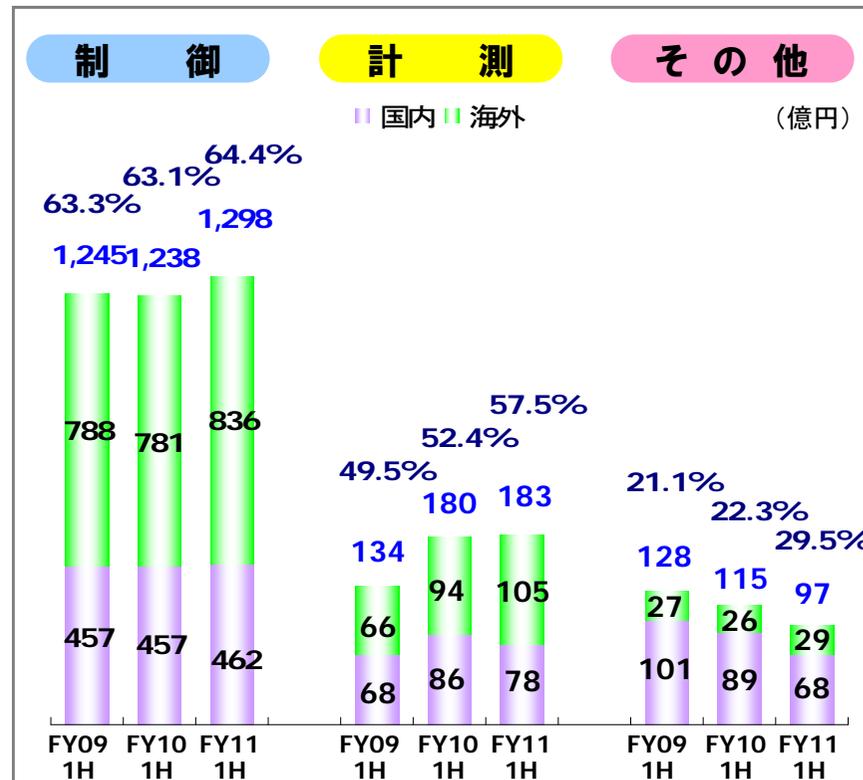
- ◆制御事業:増収に加え、自社製品比率の上昇及び物量増による粗利率改善により営業利益が増加
- ◆計測機器事業:構造改革による固定費及び研究開発費の圧縮により、前年同期と比べ営業損失が減少

海外売上高

全社



セグメント別

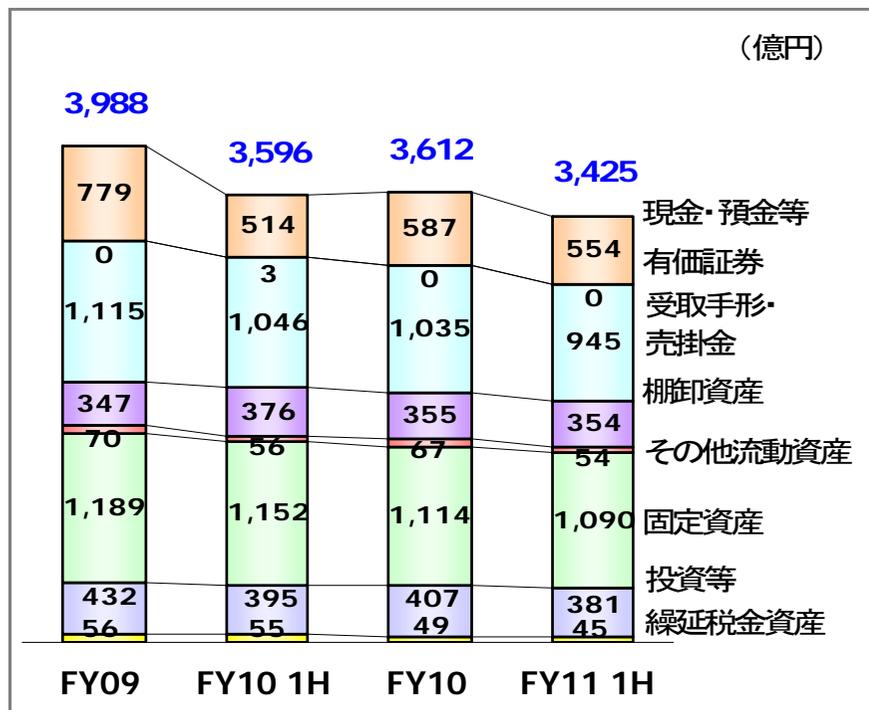


※FY09の実績はセグメント集計方法変更前の数値です。

◆主に制御事業、計測機器事業で海外売上高が拡大したことから、円高の影響を受けながらも海外売上高比率が上昇

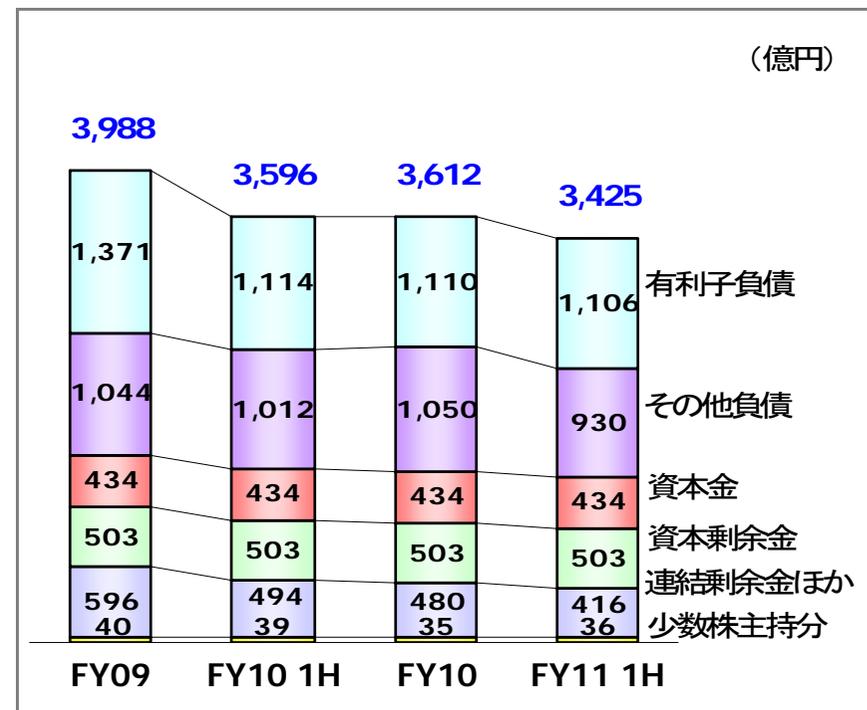
貸借対照表

資産



	FY09	FY10 1H	FY10	FY11 1H
総資産回転率	0.79	0.87	0.86	0.94
自己資本比率	38.5%	39.8%	39.2%	39.5%

負債・資本

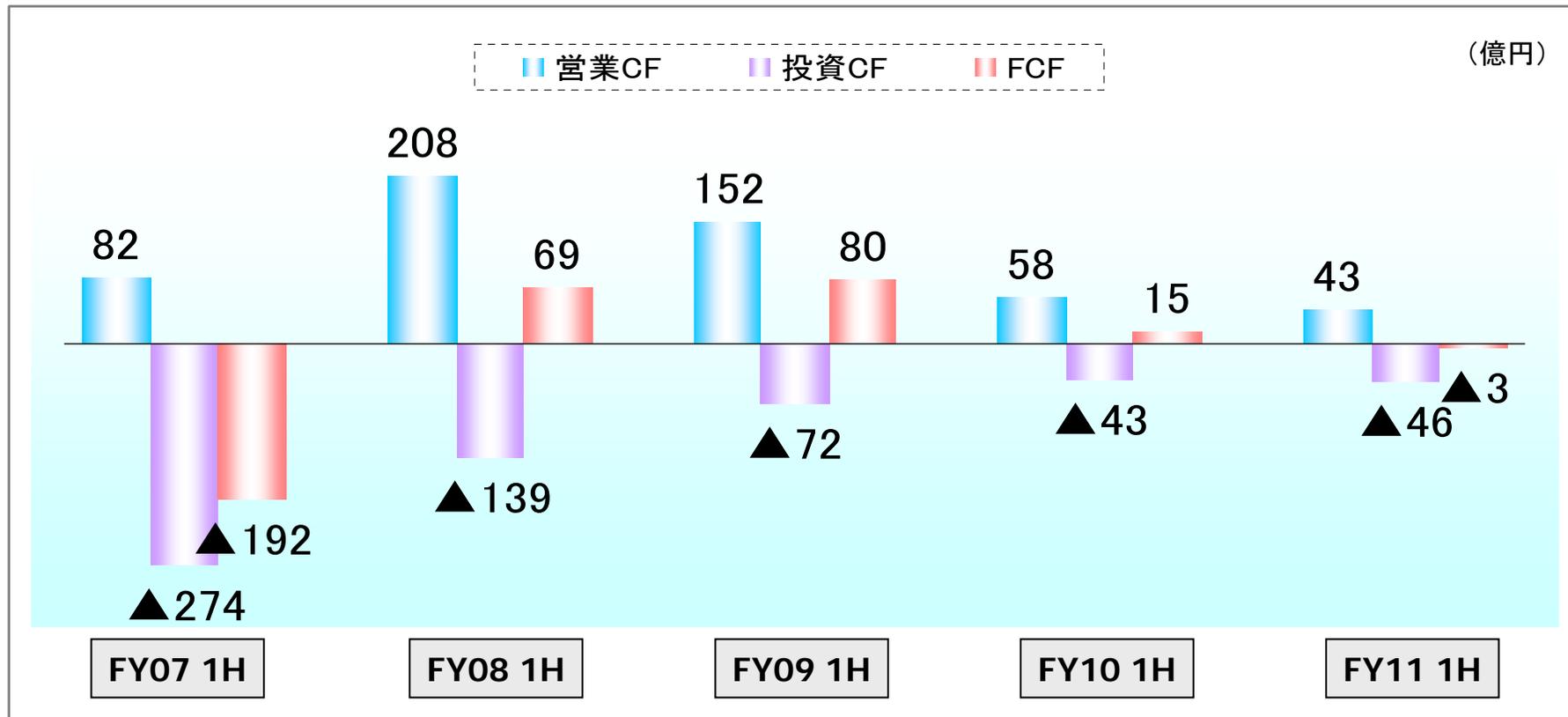


	FY09	FY10 1H	FY10	FY11 1H
D/Eレシオ	89.4%	77.8%	78.3%	81.7%
有利子負債比率	34.4%	31.0%	30.7%	32.3%

◆売掛金流動化の増加等により、前年同期と比べ受取手形・売掛金残高が減少

◆売掛金の減少及び円高による外貨建て資産の評価額の減少により総資産が減少。これにより、総資産回転率が改善

キャッシュ・フロー



◆希望退職募集に伴う特別退職金等の支払い(34億円)により営業キャッシュ・フローが減少

FY11 経営計画

(億円)

	FY10 実績(A)	FY11 計画(8/9)(B)	FY11 計画(11/8)(C)	前年比 (C-A)	当初計画比 (C-B)
受注高	3,341	3,550	3,560	219	10
売上高	3,256	3,330	3,360	104	30
営業利益	111	130	150	39	20
経常利益	86	100	120	34	20
当期純利益	▲67	50	60	127	10
為替レート	1\$= 1€=	85.13円 112.45円	80.00円 110.00円	▲8.13円 ▲7.45円	▲3.00円 ▲5.00円

- ◆受注高・売上高・利益計画とも、1H実績の計画に対する超過達成額を年間計画に上乗せし上方修正
- ◆下期の計画前提為替レートを見直し(1USドル 80円→77円、1ユーロ 110円→105円)

FY11 営業外損益・特別損益計画

(億円)

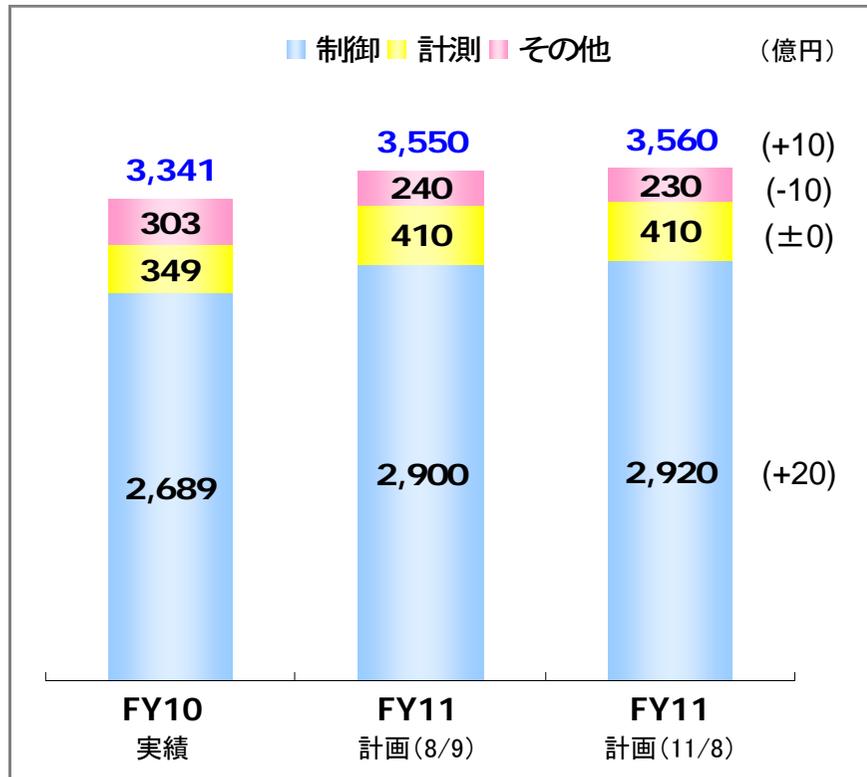
	FY10 実績	FY11 計画(8/9)	FY11 計画(11/8)
営業利益	111	130	150
営業外収益	37	▲30	▲30
営業外費用	62		
経常利益	86	100	120
特別利益	15	▲10	▲10
特別損失	111		
税引前利益	▲10	90	110
法人税等	57	40	50
当期純利益	▲67	50	60

◆営業外収益・費用、特別利益・費用は8月9日発表の計画どおり

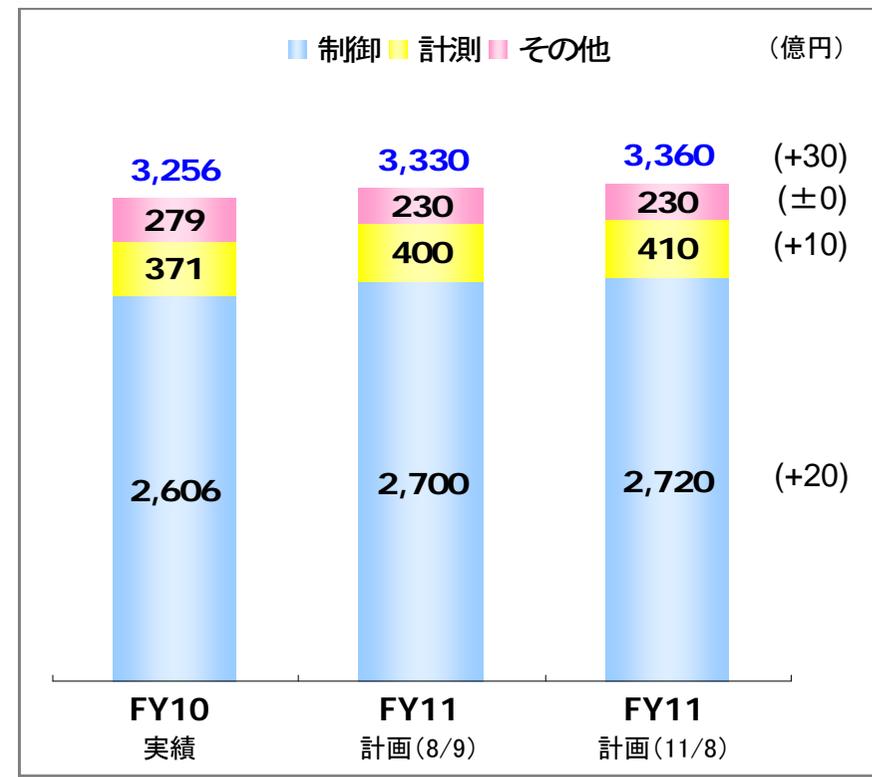
◆税引前利益の増加により法人税等が増加

FY11 セグメント別 受注・売上 計画

受注高



売上高

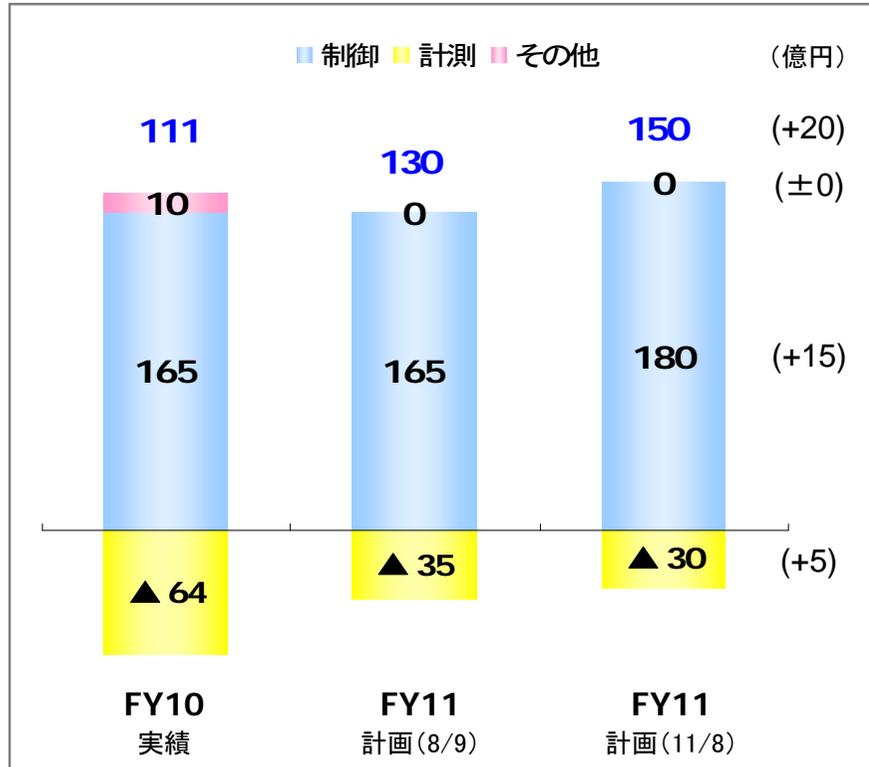


- ◆制御事業、計測機器事業について、1H実績の計画に対する超過達成額を年間計画に上乘せし上方修正
- ◆2H計画は8月9日に発表した計画を据え置き

FY11 セグメント別 営業利益 計画

営業利益

(億円)



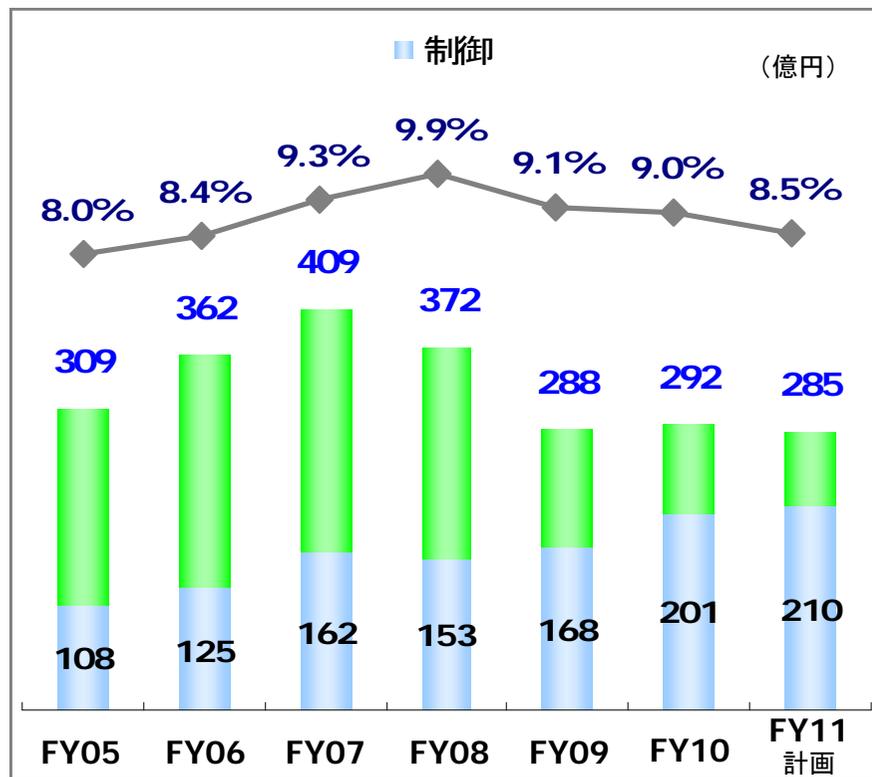
	FY11 計画 (8/9)	FY11 計画 (11/8)	差異
制御	165	180	15
計測	▲35	▲30	5
その他	0	0	0
合計	130	150	20

◆各セグメントとも、1H実績の計画に対する超過達成額を年間計画に上乘せし上方修正

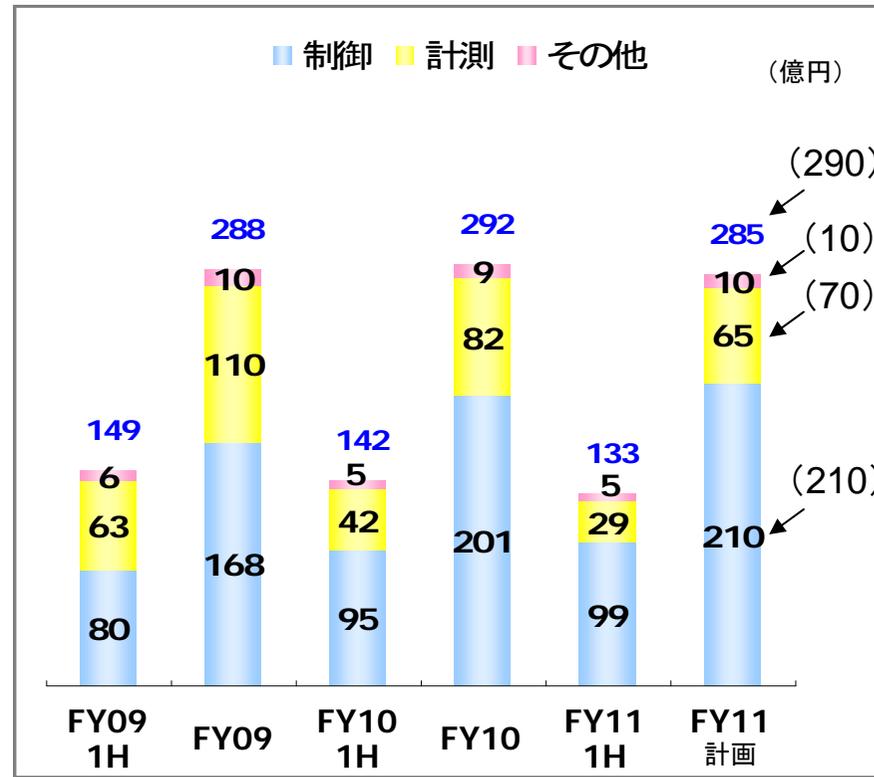
◆2H計画は8月9日に公表した計画を据え置き

研究開発費

全社



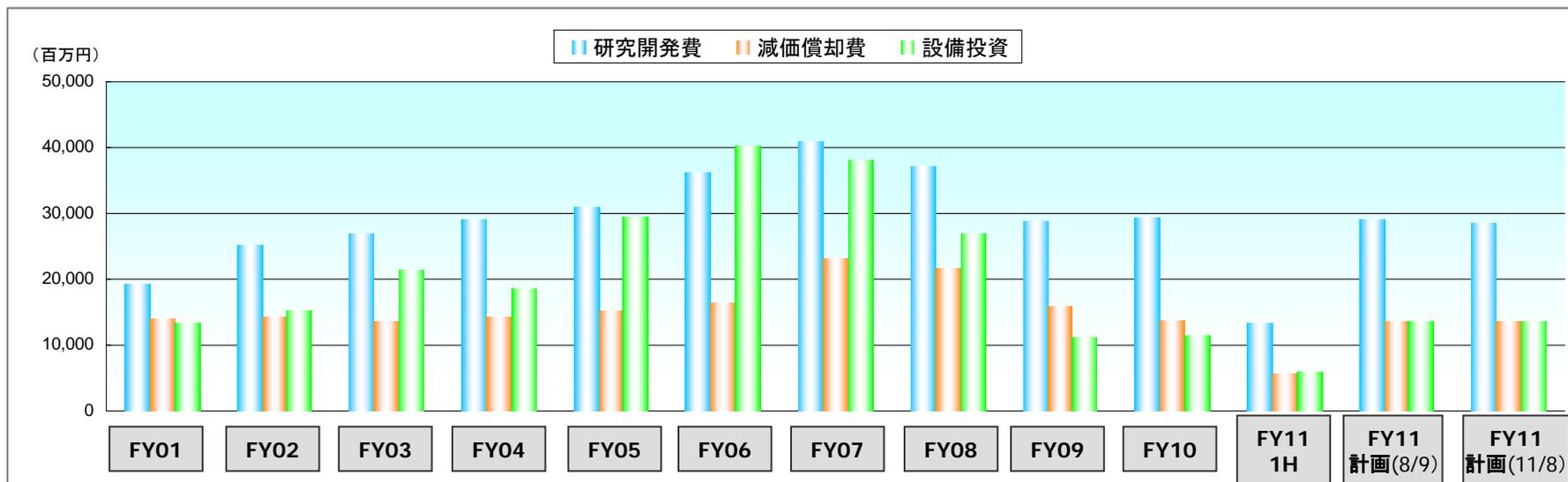
セグメント別



◆計測機器事業の研究開発費計画を70億円から65億円に修正

◆全社の研究開発費を290億円から285億円に修正

研究開発費・減価償却費・設備投資



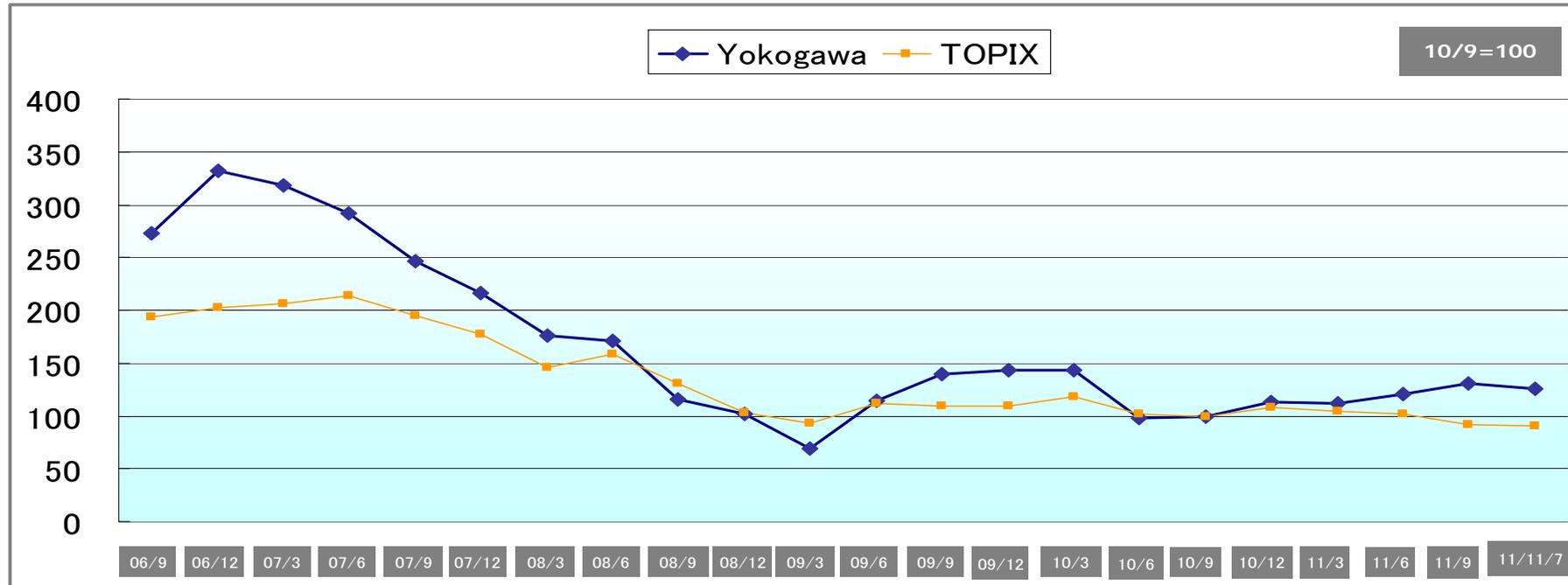
(百万円)

	FY01	FY02	FY03	FY04	FY05	FY06	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11 1H	FY11 計画(8/9)	FY11 計画(11/8)
研究開発費 (対売上比)	19,236 6.2%	25,233 7.7%	26,991 7.3%	28,998 7.5%	30,917 8.0%	36,223 8.4%	40,875 9.3%	37,229 9.9%	28,786 9.1%	29,179 9.0%	13,285 8.4%	29,000 8.7%	28,500 8.5%
減価償却費 (対売上比)	13,964 4.5%	14,298 4.3%	13,455 3.6%	14,331 3.7%	15,124 3.9%	16,483 3.8%	23,129 5.3%	21,615 5.7%	16,033 5.1%	13,836 4.2%	5,674 3.6%	13,500 4.1%	13,500 4.0%
設備投資 (対売上比)	13,347 4.3%	15,264 4.6%	21,355 5.7%	18,652 4.8%	29,540 7.6%	40,284 9.3%	37,990 8.7%	26,813 7.1%	11,125 3.5%	11,337 3.5%	5,934 3.8%	13,500 4.1%	13,500 4.0%

◆研究開発費計画を290億円から285億円に修正

◆減価償却費、設備投資計画は8月9日発表の計画どおり

株価の状況



	06/9	06/12	07/3	07/6	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/3	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6	10/9	10/12	11/3	11/6	11/9	11/11/7
Yokogawa	1,552	1,887	1,806	1,654	1,398	1,228	998	971	659	582	394	650	795	812	814	557	568	646	634	683	740	716
TOPIX	1,611	1,681	1,714	1,775	1,617	1,476	1,213	1,320	1,087	859	774	930	910	908	979	841	830	899	869	849	761	750

	06/9	06/12	07/3	07/6	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/3	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6	10/9	10/12	11/3	11/6	11/9	11/11/7
Yokogawa	273	332	318	291	246	216	176	171	116	102	69	114	140	143	143	98	100	114	112	120	130	126
TOPIX	194	203	207	214	195	178	146	159	131	103	93	112	110	109	118	101	100	108	105	102	92	90

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。